

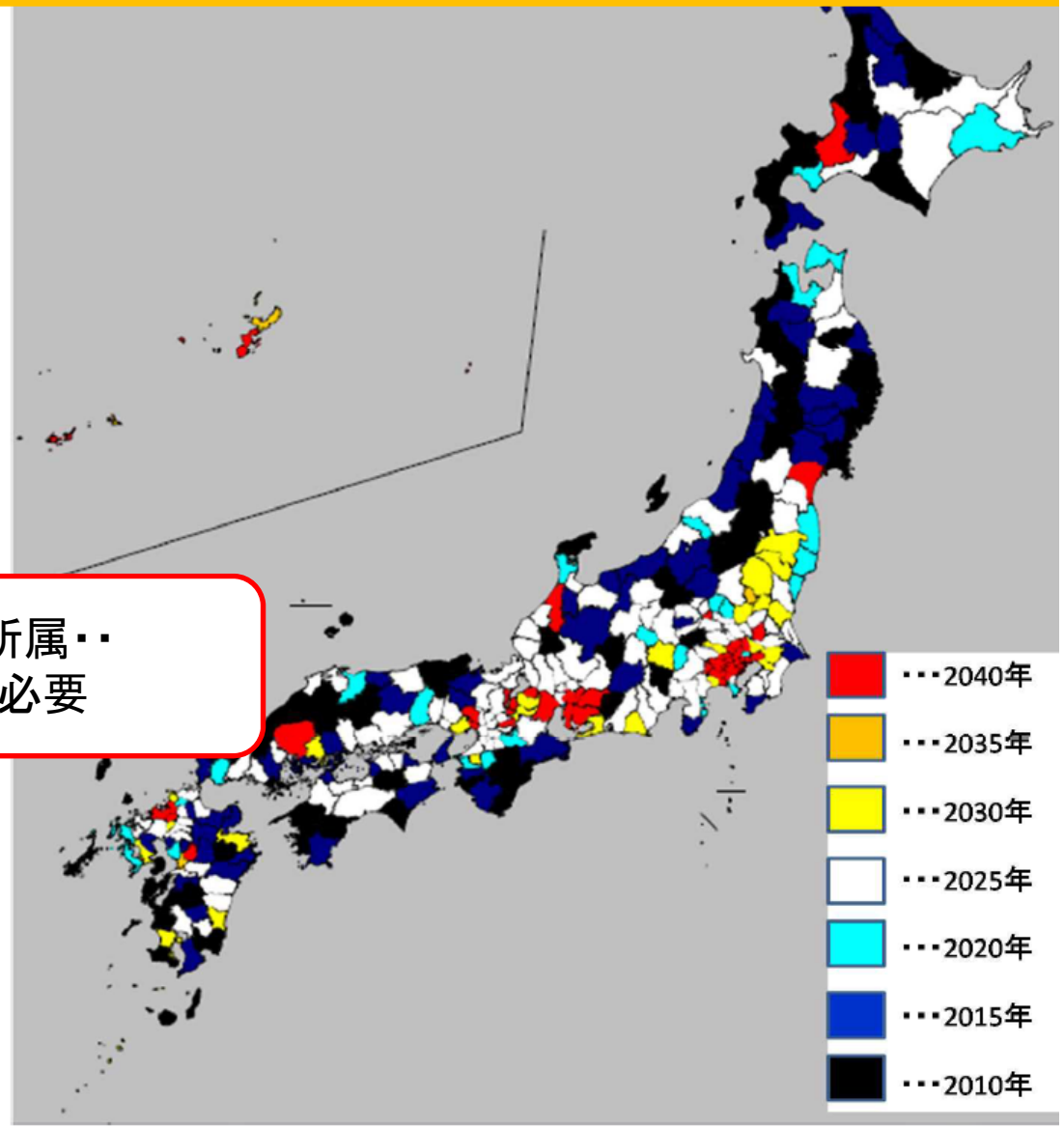
# 看護の現状と課題

東海大学 医学部 看護学科 真下綾子

# 高齢化のピーク・医療需要総量のピーク

地域により  
医療需要ピークの時期  
が大きく異なる

多くの看護師が医療機関に所属・・・  
医療需要に対応することが必要

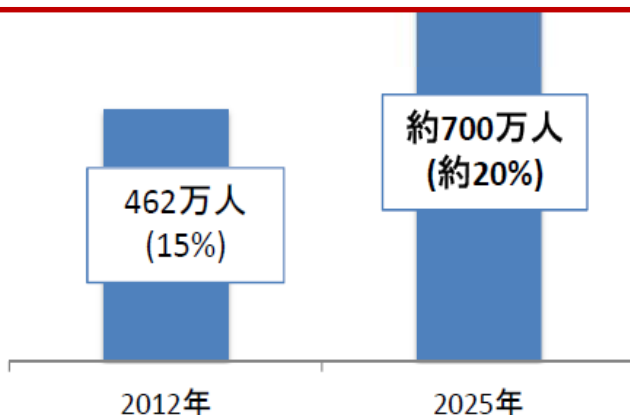


出典: 社会保障制度国民会議 資料 (平成25年4月19日 第9回  
資料3-3 国際医療福祉大学 高橋教授 提出資料)

## 認知症高齢者の増加

65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加していく。

**認知症高齢者の増加  
医療機関・介護施設・地域での対応が必須**

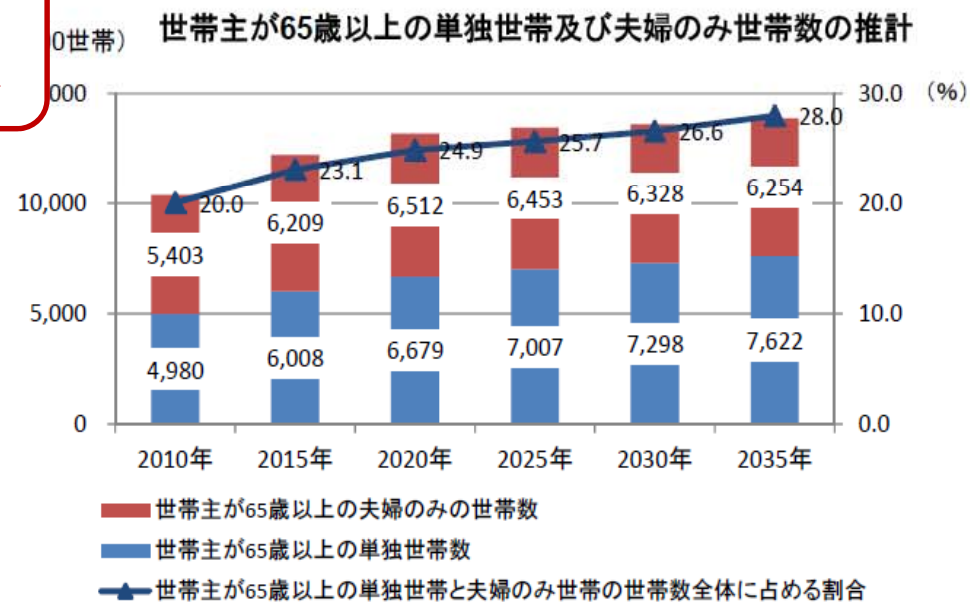


※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)による速報値

**医療機関から在宅へ退院できない現状  
地域連携室(看護師)で対応**

## 独居・夫婦のみ世帯の増加

世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していく。



国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)

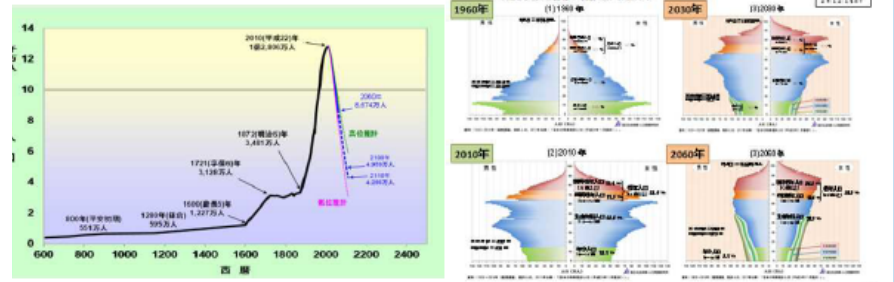
(平成25(2013)年1月推計)より作成

# 平成30年度診療報酬改定の背景

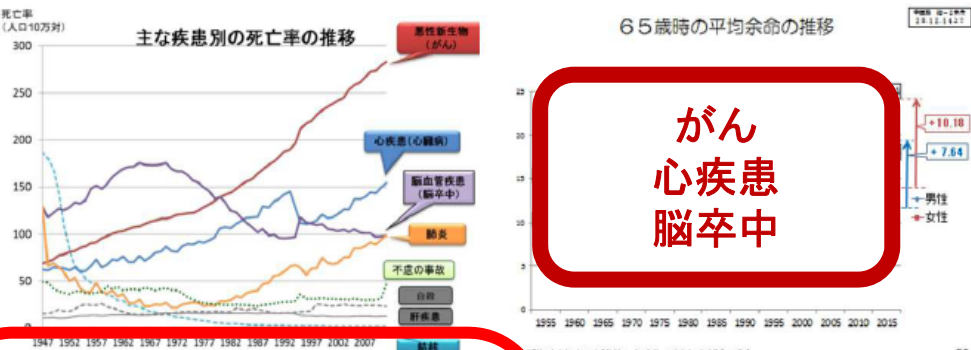
## 急激な社会環境の変化

## ケアニーズの変化

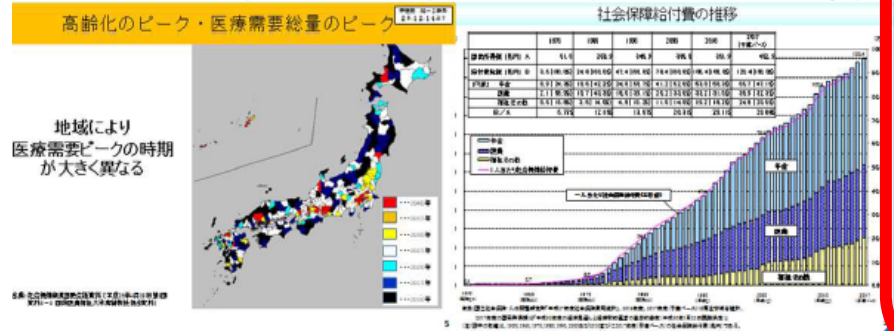
### ■ 歴史上も特異な人口激変 ■ マクロの急速な少子高齢化



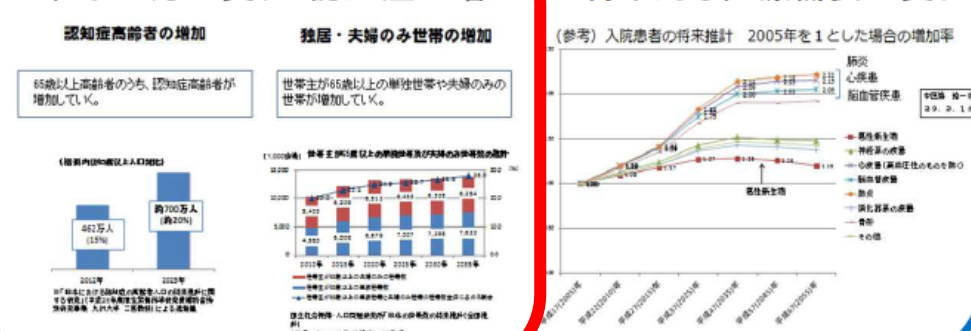
### ■ 感染症から生活習慣病へ ■ 高齢者自身の变化



### ■ 地域差を伴う高齢化の進展 ■ 伸び続ける社会保障費



### ■ 住まい方の変化・認知症の増加 ■ 将来的な医療需要の変化



## 技術革新と持続可能性の調和

### ■ 高額技術の台頭 ■ ICT、ビッグデータへの期待、

世界売上上位15品目(2001年・2014年)

品名	2001年	2014年
1. 医薬品	1,800	2,500
2. 自動車	1,500	2,200
3. 半導体	1,200	1,800
4. 電気機器	1,000	1,500
5. 化学製品	800	1,200
6. 鉄鋼製品	700	1,000
7. 繊維製品	600	800
8. 機械	500	700
9. 食品	400	500
10. 紙製品	300	400
11. 石油製品	200	300
12. 輸送機	150	200
13. 農産物	100	150
14. 金属製品	80	100
15. その他	50	80

ICT、ビッグデータへの期待

① 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

② 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

③ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

④ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑤ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑥ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑦ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑧ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑨ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑩ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑪ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑫ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑬ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑭ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑮ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑯ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑰ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑱ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑲ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

⑳ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉑ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉒ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉓ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉔ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉕ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉖ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉗ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉘ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉙ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉚ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉛ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉜ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉝ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉞ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㉟ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊱ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊲ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊳ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊴ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊵ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊶ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊷ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊸ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊹ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊺ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊻ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊼ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊽ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊾ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

㊿ 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

## 求められる対応(改定の基本方針)

- I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進
- II 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実
- III 医療従事者の負担軽減働き方改革の推進
- IV 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の強化



# 平成30年度診療報酬改定の背景

## 急激な社会環境の変化

## ケアニーズの変化

■ 歴史上も特異な人口激変 ■ マクロの急速な少子高齢化

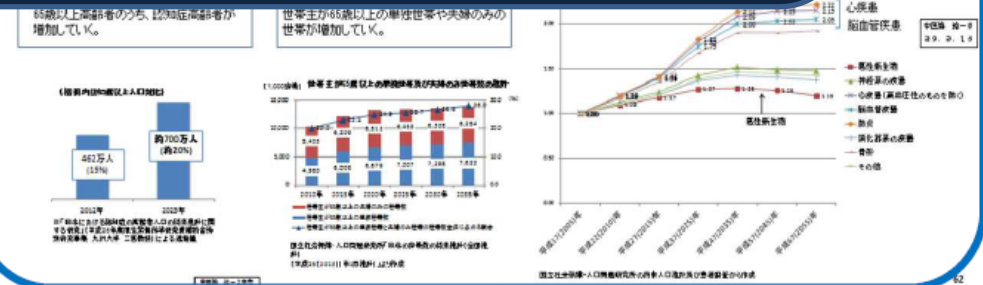
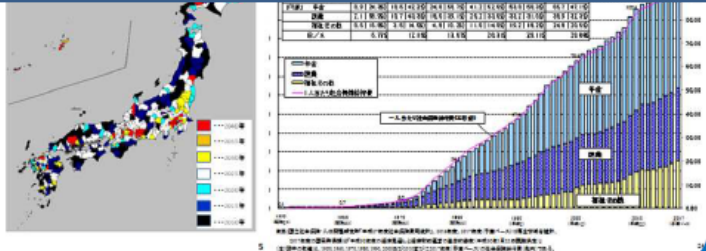
■ 感染症から生活習慣病へ ■ 高齢者自身の変化



**ICT、ビッグデータへの期待  
(医学・医療のみならず看護にも活用・期待!)**

■ 地域  
■ 高齢

地域により  
医療需要ピークの時期  
が大きく異なる



## 技術革新と持続可能性の調和

■ 高額技術の台頭  
世界売上上位15品目(2001年・2014年)

■ ICT、ビッグデータへの期待、  
両面併用によるICT活用促進策(関係者)

品目名	品名	2001年	2014年
人工関節	人工股関節	1,800	2,500
人工関節	人工膝関節	1,500	2,200
人工関節	人工肩関節	1,200	1,800
人工関節	人工肘関節	1,000	1,500
人工関節	人工手関節	800	1,200
人工関節	人工足関節	700	1,100
人工関節	人工指関節	600	900
人工関節	人工顎関節	500	800
人工関節	人工歯関節	400	700
人工関節	人工歯槽	300	600
人工関節	人工歯冠	200	500
人工関節	人工歯橋	100	400
人工関節	人工歯肉	50	200
人工関節	人工歯根	30	100
人工関節	人工歯茎	20	80
人工関節	人工歯肉	10	40
人工関節	人工歯根	5	20
人工関節	人工歯茎	3	10
人工関節	人工歯肉	2	5
人工関節	人工歯根	1	3
人工関節	人工歯茎	0.5	1.5
人工関節	人工歯肉	0.3	0.8
人工関節	人工歯根	0.2	0.5
人工関節	人工歯茎	0.1	0.2

① 一人ひとりに寄り添った保健医療へ

～本図面でも実現していく患者・国民にとっての価値～

ビッグデータ活用やAIによる分析

地域や全国の  
医療・医療・介護情報ネットワーク

ICTを活用した遠隔診療や見守り

ビッグデータ活用による  
インベージョン

## 求められる対応(改定の基本方針)

- I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進
- II 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実
- III 医療従事者の負担軽減働き方改革の推進
- IV 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の強化

# 平成30年度診療報酬改定の基本方針(概要)

## 改定に当たっての基本認識

### ➤ 人生100年時代を見据えた社会の実現

- ・我が国は世界最高水準の平均寿命を達成。人口の高齢化が急速に進展する中、活力ある社会の実現が必要。
- ・あらゆる世代の国民一人一人が状態に応じた安心・安全で質が高く効果的・効率的な医療を受けられるようにする必要。

### ➤ どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現(地域包括ケアシステムの構築)

- ・地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムを構築する必要。
- ・平成30年度は6年に1度の介護報酬との同時改定。医療機能の分化・強化、連携や、医療と介護の役割分担と連携を着実に進める必要

### ➤ 制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進

- ・制度の安定性・持続可能性を確保しつつ国民皆保険を堅持するためには、国民の制度の理解を深めることが不可欠。無駄の排除、医療資源の効率的な配分、医療分野のイノベーションの評価等を通じた経済成長への貢献を図ることが必要。
- ・今後の医療ニーズの変化や生産年齢人口の減少、医療技術の進歩等を踏まえ、医療現場の人材確保や働き方改革の推進が重要。

## 改定の基本的視点

### 1 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

- 患者の状態等に応じて質の高い医療が適切に受けられるとともに、必要に応じて介護サービスと連携・協働する等、切れ目のない医療・介護提供体制が確保されることが重要。
- 医療機能の分化・強化、連携を進め、効果的・効率的で質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要。

### 3 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

- 医療従事者の厳しい勤務環境が指摘されている中、医療の安全の確保や地域医療の確保にも留意しつつ、医療従事者の負担の軽減を図り、あわせて、各々の専門性を発揮でき、柔軟な働き方ができるよう、環境の整備、働き方改革を推進することが必要。

### 2 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

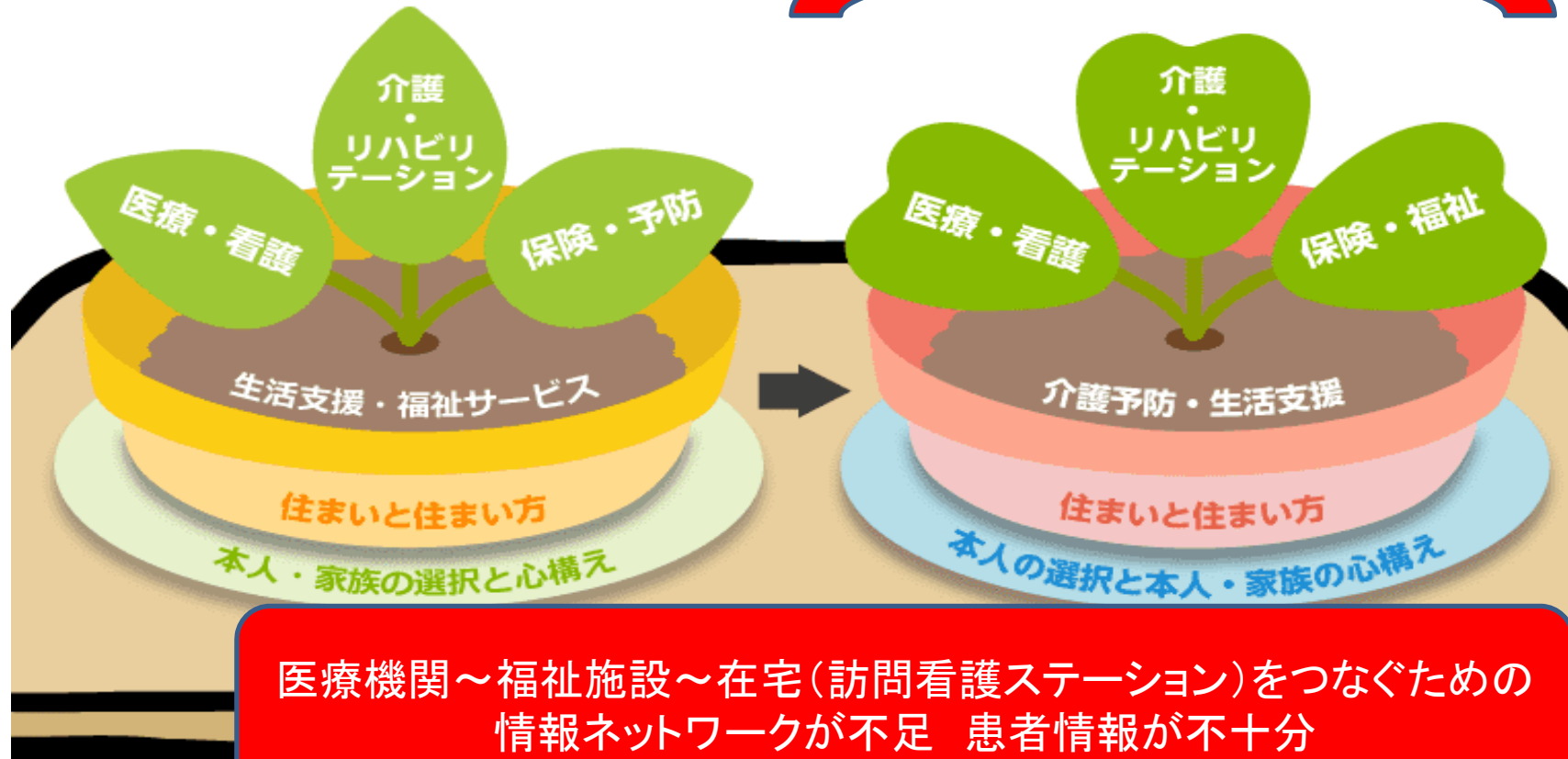
- 国民の安心・安全を確保する観点から、今後の医療技術の進展や疾病構造の変化等を踏まえ、第三者による評価やアウトカム評価など客観的な評価を進めながら、適切な情報に基づき患者自身が納得して主体的に医療を選択できるようにすることが重要。
- また、新たなニーズにも対応できる医療を実現するとともに、我が国の医療の中で重点的な対応が求められる分野の適切な評価が重要。

### 4 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上

- 国民皆保険を維持するためには、制度の安定性・持続可能性を高める不断の取組が求められ、医療関係者が共同して、医療サービスの維持・向上と同時に、医療の効率化・適正化を図ることが必要。

# 進化する地域包括ケアシステムの「植木鉢」

訪問看護・訪問医療・訪問リハ・デイサービス





# 課題. 認知症高齢者の増加に伴うマンパワー 不足・看護ケア・記録時間の確保

方向性: ◆タスクシフト・多職種連携

クラーク科の立ち上げ・看護クラーク  
(事務職)

訪問看護リハビリステーション アオアクア  
(東京都)

◆記録の短時間化

音声入力で時間短縮 残業を減らそう

# 聖マリアンナ医科大学病院

音声入力で記録時間を短縮

- [https://www.youtube.com/watch?v=Usn\\_EJY9pYk](https://www.youtube.com/watch?v=Usn_EJY9pYk)

# ◆ AI/ ICTの積極的活用

## ◆ NTT 東日本関東病院（東京都）

- RPA（ロボットによる業務自動化）導入による  
看護管理業務の効率化

**ロボットによる業務自動化の取り組みを表す  
「デジタルレイバー（Digital Labor）」  
「仮想的労働者」**

- 転倒転落における**事故分析AI**を活用し  
新たな転倒転落アセスメント指標を確立

# 聖マリアンナ医科大学病院

聖マリアンナ医科大学病院で、自律走行型デリバリーロボット「Relay」による検体・薬剤搬送の実証実験を実施  
～医療従事者の負担軽減・業務効率化を図り、働き方改革を促進～

1. 搬送先を指示し、搬送品を入れる  
(RFID認証)



2. 荷物や人を避けながら、スムーズに走行



3. エレベータに乗ってフロアを移動



4. ピックアップ  
(RFID認証)



5. 搬送まで充電



6. 次の配送



看護界における課題  
AI ICT ロボテック等で  
解決の一翼を担うことを期待